

9. 企業・地域編

① 保護者のホンネに耳を傾ける

《ねらい》

- 保護者がおかれている実情を思いやりを持って理解し、保護者が頑張って子育てに向き合えるような言葉かけを考える。

《準備物》

- ファシリテータ：ワークシート
- 参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入	(10)	1. 学習のねらい みなさんの中には子育ても無事終了した方もおられると思います。本日お集まりの方々は、現役の子育て世代への支援や応援をする立場の方々ですね。時代は変わり、保護者の実態も変わってきました。その実情を思いやりを持って理解し、保護者が頑張って子育てに向き合えるような言葉かけを考えてみましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照	・4人程度のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P. 6参照	
展開	10	4. ワークシートに記入する。 ・保護者の言い分について、思いやりを持って理解する。 ・肯定的な言葉かけを考える。 ・悩んでいる保護者向けのアドバイスを考える。 (ワーク1)	4. (ワーク1の保護者のホンネを音読します。) その後、「この頃の保護者は…」という言葉を読み込んで、前向きに理解しましょう。続いて肯定的な言葉かけとアドバイスについて、思いつくことを書き出しましょう。	
	15	5. グループで話し合う。 ・ワーク1に書き出したことを発表する。 ・そう考えた理由について補足する。 ・共感することがあれば意見を述べる。 (ワーク2)	5. では、記述した内容を発表し合いましょう。その際に、そう考えた理由について補足してください。それらを聞いて、共感することがあれば意見を述べてください。	
	10	6. グループごとに発表する。	6. どんな意見がでましたか。グループで出た意見を発表してください。	・抽出グループでも可。 ・各グループで1つずつ発表してもよい。
まとめ	5	7. ふりかえり	7. このワークをふりかえって、気づいたこと・参考になったことをまとめてみましょう。	
	10	8. まとめ いかがでしたか。保護者やその家庭を取り巻く環境は日々変わっていますので、保護者がおかれている実情を思いやりを持って理解し、保護者が頑張って子育てに向き合えるような言葉かけを行うように心がけましょう。		

① 保護者のホンネに耳を傾ける

みなさんの中には子育ても無事終了した方もおられると思います。時代は変わり、保護者の実情も変わってきています。その実情を、思いやりを持って理解し、保護者が頑張って子育てに向き合えるように支援していきませんか。



ワーク1

次の保護者のホンネについて、保護者の置かれている実情を理解しながら、どんな声かけ、アドバイスや支援、かかわり方ができるか考えてみましょう。

①公共の場（講演会等）に子どもを連れていくのですが、まわりの人の視線に冷たさを感じてしまいます。親としてどうするのがよいのでしょうか。

②職場の事情や家庭の状況から生後3ヶ月の子どもを保育園に預けています。「えっ、もう預けるの?!」と非難するような言葉を聞くこともあります。どうしたら周囲の理解が得られるのでしょうか。

ワーク2

メンバーの意見を聞いて気づいたことをメモしましょう。

ふりかえり

